

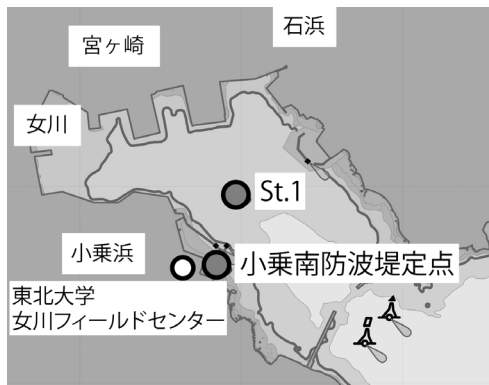
## 週刊 女川湾海況速報 (No.69)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

11 月 18 日から 22 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温と塩分はともに下降し、それぞれ 14.5～15.1℃、32.8～33.3 の範囲にあった。経時的に水温は表層（0m）で 21 日に上昇。底層（5m）では 20 日に上昇し、それ以降は 15℃台を示した。塩分は全層で 20 日以降に上昇傾向にあった。鉛直的には期間を通じて水温逆転を維持。20 日以降の水温と塩分の上昇は港外水の侵入の影響、水温逆転は海面冷却の影響と推定。

水深 [m]	11月18日 (月)	11月19日 (火)	11月20日 (水)	11月21日 (木)	11月22日 (金)
0	14.7 (32.8)	14.7 (32.8)	14.5 (32.9)	15.1 (33.2)	14.9 (33.3)
5	14.8 (32.9)	14.8 (32.9)	15.2 (33.2)	15.1 (33.3)	15.0 (33.3)

水温の単位は℃。\*18日は水深7m、20日は6mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して表層で下降したが、底層では上昇。20日に全層で上昇し、特に表層で高い値を示した。（単位はFTU）

水深 [m]	11月18日 (月)	11月19日 (火)	11月20日 (水)	11月21日 (木)	11月22日 (金)
0	0.8	0.5	9.0	0.9	0.9
5	1.2	1.1	2.4	2.0	1.1

③溶存酸素：先週と比較して全層で上昇し、6～8mg/l 台を示した。経時的には期間を通じて全層で下降傾向にあり、21日以降に6mg/l 台を示した。

水深 [m]	11月18日 (月)	11月19日 (火)	11月20日 (水)	11月21日 (木)	11月22日 (金)
0	8.4	8.2	7.8	6.5	6.8
5	8.4	8.1	7.7	6.8	6.7

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

## St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 14.8～15.3℃、33.0～33.3 の範囲にあった。濁度は 1.0～1.9FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 7.0～8.3mg/l の範囲にあり、底層付近で最小。先週と比較して、水深 15m 以深で酸素飽和度が下降し、85～87%を示した。

11 月 20 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	14.8	33.0	1.0	8.3
5	15.1	33.2	1.0	8.2
10	15.2	33.3	1.2	7.2
15	15.2	33.3	1.0	7.0
19	15.3	33.3	1.9	7.0

本データの利用については、  
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。